

2020年8月19日

久留米工業大学にて学生支援の寄付金贈呈式が行われました。

筑後信用金庫（理事長 江口 和規）は、①新型コロナウイルス感染症の影響でアルバイト収入や親許からの仕送りの減少等で生活に困窮をきたしている学生や②この度の令和2年7月豪雨により直接被害を受けた学生、ご実家が被災された学生などの支援ため、久留米工業大学に10万円の寄付を行い、その贈呈式が去る7月31日（金）、久留米工業大学100号館9階多目的ホールにて行われました。

また、この趣旨に賛同いただいた、当金庫取引先の若手経営者による「筑信若手経営者研修会＝ちくしん琢磨会」からも別途3万円の寄付をしていただき、“ちくしん琢磨会”の弥永会長も贈呈式にご出席いただきました。

江口理事長は、コロナ禍や豪雨災害で経済的に困窮する久留米工業大学の学生さんに少しでもお役に立ててもらいたい、学生支援に自由にお遣いいただきたいとあいさつ致しました。

久留米工業大学の今泉学長は、これまで食料支援を4回ほど実施し、用意した食料がすぐになくなってしまったこと、7月の豪雨災害では、人吉市出身の学生の実家が床上浸水したこと、三潴・城島地区出身の数名の学生の実家も被害を受けているとご報告があり、この寄付金は大変ありがたく、有意義に遣わせていただきます、とあいさつされ、筑後信用金庫および“ちくしん琢磨会”に感謝状を贈呈されました。

以上

【あいさつする江口理事長】



【贈呈記念撮影】



左から江口理事長、今泉学長、琢磨会弥永会長